

2026年2月10日

各 位

テイカ株式会社

導電性高分子薬剤のさらなる生産能力増強に関するお知らせ

当社は2024年6月に「導電性高分子薬剤の生産能力増強に関するお知らせ」を発表し、大阪市大正区の当社大阪工場（大阪市大正区船町1丁目3番47号）敷地内にある製造設備の増強工事を進めて参りました。当初の計画通り、2026年初旬に生産能力を2023年度対比の3倍に増強する工事が完了予定であります。当時の予想よりも本製品の需要が拡大しているため、さらなる生産能力の増強を決定いたしました。

記

1. 製造設備のさらなる生産能力増強の経緯について

当社の導電性高分子薬剤は、パソコンやスマートフォンなどの駆動に欠かせないコンデンサにも使用されていますが、現在は、成長が著しいAIサーバー向けコンデンサや自動運転やEV化が進む車載用コンデンサでの需要が拡大しています。これらの新たな分野では、従来よりも高い性能と信頼性が求められますが、当社が積み重ねてきた改善改良により、顧客の要求を超える製品を提供することで当社製品の採用が広がっています。

このような状況下、2024年当時の予想よりも需要が拡大しており、当初計画した生産能力では全ての顧客の需要に応えることができなくなると判断し、さらなる増強を決定いたしました。

2. 生産能力の増強による売上高の見通し

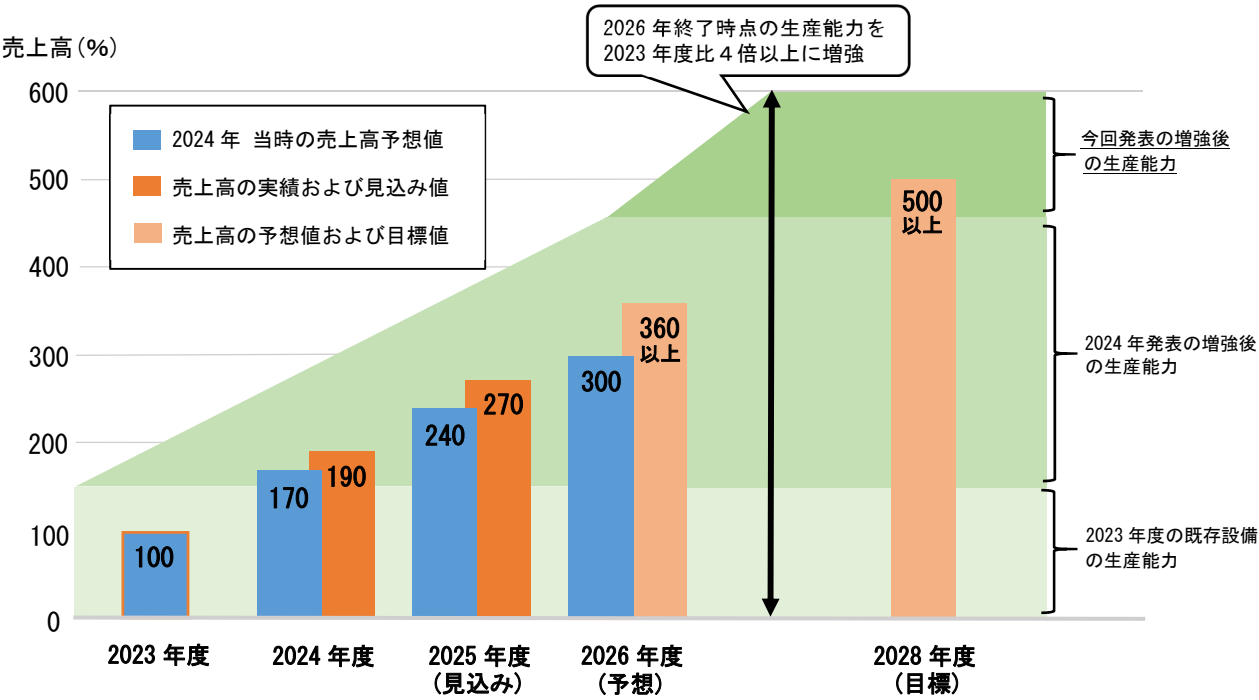
2028年度終了時点での導電性高分子薬剤事業の売上高目標を2023年度対比の5倍以上に設定し、生産能力を2026年度終了時点までに2023年度対比で4倍以上に増強することといたしました。（次頁のグラフ参照）

本事業を当社の最重要「新規事業」と位置づけ、積極的な投資を行うことにより、さらなる育成に注力して参ります。

グラフ：導電性高分子薬剤の生産能力と売上高の推移および相関図

(※売上高の数値は、2023 年度の売上高を 100%とした場合の対比数値)

2024 年当時に予想した売上高と比較して、2026 年度売上高は 1.2 倍以上となる見込みであり、
今後の需要の増加に対応するため生産能力の増強を決定しました。



以 上